



## 主要会社 正社員 月例賃金 (一人平均) 2000円改善



### 2020春闘 妥結・決着

中央闘争委員会は、持株会社をはじめ主要会社から『要求書』に対する最終回答（別掲）を受け、妥結・収拾を図った。

### 会社側「グループとして中期経営戦略を強力に推進し反転させるため決断」

持株会社・島田副社長は、「新型コロナウイルスの感染拡大対策をさまざまに行なう中で、例年と異なる春闘となったものの、経営課題を共有しつつ、グループの持続的な成長・発展に向けて労使で建設的な論議を重ね、最終回答に至ったものである」と述べた上で、次の見解を示した。

(1)経済の先行き不透明感が増す中で、今年度決算が「減益」の計画であるが、来年度は、中期経営戦略を強力に推進し、反転させていく年とするための、「社員・組合員の努力がその実現につな

#### 別掲

資格賃金および成果手当を改定し、一人平均2000円改善する。

1. 資格賃金については、一人平均700円改善。
2. 成果手当については、一人平均1300円改善。

実施時期については、2020年4月1日とする。

がる」との観点で、月例賃金改善を昨年水準で実施することを決断した。

(2)中期経営戦略の推進のため、職場リーダー層・中堅社員に重点を置いた改善とし、事業を牽引していくことを期待したい。

(3)今後も、労使信頼関係のもと、事業課題、『高年齢者雇用安定法』への対応や労働条件等、さまざまな課題について真摯に論議していく。

### 組合側「厳しい経営状況で『人財重視の姿勢』示された」

喜井中央闘争委員長は、「新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、NTTグループで働く組合



員・社員の安全を最優先に労使交渉を展開してきた。感染症対策については、貴社と連携して対応にあたっていく」と述べ、次の見解を示した。

(1)今次春闘の結果は、NTTグループの厳しい経営状況などの中で、会社側が英断したものであり、『人財を重視する』姿勢が示された。

(2)中期経営戦略で示された2030年代を展望すれば、AI・ビッグデータ、5Gなど技術の進展で、社会システムや生活空間がグローバル規模で大きく変革する時期にあり、NTTグループ事業には、よりスピード感を持った対応が求められる。

(3)NTT労組は、引き続き、「雇用の安定・確保」を第一義に対応する考えであり、会社側には働きやすい・働き甲斐のある職場環境整備とともに、雇用や働き方に関する社会システム等への変革にも的確に対応していくことを求めたい。

今次春闘結果は、労使信頼関係のもとで導き出した結論であり、まさに『対立と調和』によって妥結・収拾を図るものである。